



はとつうしん

No.86 2026. 1. 1 (創刊 1989年7月)

○発行／日高市民生委員・児童委員協議会／日高市大字南平沢1020番地 日高市役所福祉子ども部生活福祉課

空の碧きに 連凧 あがる

写真提供 高麗地区 深瀬 周一



新年の挨拶



日高市長 谷ヶ崎 照雄

新年明けましておめでとうございます。
民生委員・児童委員の皆様には、健やかに令和8年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より福祉行政の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年12月に行われました一斉改選により、新たに83名の方が厚生労働大臣並びに埼玉県知事から委嘱を受けられました。委嘱された皆様におかれましては、これから3年間、地域福祉の向上を図るため、民生委員・児童委員としての活動をお願い申し上げます。

また、退任されました37名の皆様におかれましては、これまで地域福祉の推進役としてご尽力いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

近年、市民の皆様が抱える生活課題は、多様で複雑化・複合化してきており、地域社会における人と人とのつながりが希薄化する中で、サービスにつながるにくい方々や、地域から孤立している世帯等に対して、必要な支援が届きにくくなっています。このような課題に対し、本市では、第4次日高市地域福祉計画において、「誰もがつながる安心と支え合いの地域づくり」を基本理念とし、地域一体となって支援できる体制づくりを目指しています。委員の皆様におかれましては、地域住民の安心の灯台として、また関係機関へのつなぎ役として、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、日高市民生委員・児童委員協議会のさらなる発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

県外研修に参加して



高麗地区
下田 杉郎

天候不順の続いた10月、久々の晴れ間に恵まれて、高麗地区民児協の日帰りバス視察研修の一行は、宇都宮市にある「とちぎ福祉プラザ」へと向かいました。途中、羽生PAでの休憩を挟み、バス車内でのビデオ研修を行いながら、予定どおり10時30分に現地に到着しました。

この施設は平成12年から運用が始まったもので、エレベーターのフットスイッチなど、健常者では気づかない、そして障がい者に優しい設備が至る所に設置されていました。今回私たちは、点字図書、点字での公文書作成、カセットテープ・CDでの音声資料の作成などの視聴覚障がい者に対する取り組みの視察研修に参加しました。

午後は大谷石資料館で、採石場跡の深さ60m、広さ2万㎡という巨大空間を見学しました。



高麗川地区
野口 和雄

日頃ご苦労されている民生委員・児童委員の方々の癒しのバス研修となれば良いと思い、栃木県のご都足利市を計画させていただきました。

若いカップルの縁結びの神様で、愛の聖地である織姫神社は、七色の鳥居をくぐり、人生・経営・仕事・学業・知恵・健康・人との良き縁結びを願い、229段の階段を上り、壮大な神社の建物を構える境内は関東平野を一望でき、素晴らしく雄大な景色を満喫して、清々しい気持ちになりました。

日本最古の学校である史跡、足利学校は、観光協会のガイドによる説明付きで、分りやすく見学できました。

ガトーフェスタハラダ本社工場見学は、出来たてホヤホヤのラスク・珈琲等を楽しんでから製造工程の見学・工場製品の買物をしました。

バス内でもDVDによる研修を行いました。和気藹々と一日過ごせました。



高萩地区
越野 一夫

令和7年9月9日・10日の二泊二日で高萩地区民生委員・児童委員の県外視察研修を実施しました。静岡県駿東郡長泉町の福祉会館4階会議室。現地の社協民生委員・児童委員の皆様が、我々23名を迎えてくれました。相互に挨拶と活動紹介の後、「こどもふくしチャレンジ」になぜ取組んだのか、経緯とその成功過程をお話していただきました。

少子高齢化が進んでいるなか、企業誘致が成功し、若い人が住み、人口4万超の町となりました。高齢化率22.5%、出生率1.82。しかし6割は核家族。数年前から共働き家庭が増え、子どもたちの94%が自宅で子どもだけで過ごしている。生活する中で困り事や心配事を課題と捉え、住民と取組んだとの事でした。今回の研修会は、大変感動し、有意義なものとなりました。

あんなこと、こんなこと



高麗川地区
岩本 俊哉

民生委員・児童委員の委嘱を受けて早々に二件の相談を受けました。一つは騒音問題。もう一つは児童に対する虐待の疑いの申し出でした。一つ目の問題は、大勢の方の協力で解決して「ありがとう」とお礼をいわれてとても嬉しかったです。虐待については、一人で悩まず直ちに主任児童委員へ報告、そして相談しました。その後、主任児童委員と自治体の担当部署から虐待の事実はないとの結果報告をいただき、安心しました。三年目の今は相談件数・訪問件数も増え、「民生委員さんと話してスッキリしました」と言っていたこともありません。少子高齢化の波は限りなく押し寄せてきていますが、人の立場に立って連携を大切にして、活動して行きたいと思えます。

一斉改選を終えて

～民生委員・児童委員の一斉改選で感じること～



高萩地区

杉山 博行

昨年は任期3年が終了した年、そしてそこで行われたのが委員の一斉改選です。全国民生委員・児童委員連合会の昨年度事業計画で、活動の一つの重点として、「なりて確保と委員活動を継続しやすい環境づくり」が掲げられていました。そこでおさらいしてみましよう。民生委員とは「地域の一人暮らしの高齢者や障がい者、ひとり親世帯などを訪問や電話連絡を通じて、生活上の困りごとの相談に応じるボランティア（無報酬）で、厚労大臣から委嘱される特別職の地方公務員」と定義されています。今私たちが直面しているのは、昨今の高齢化の進展で、その役割の重要性が高まっていることです。加えて児童虐待や災害への備えといった対応すべき課題も広がってきています。

少し古いデータですが、全国民児連が2019年に全国1万人のイメージ調査として実施した中から拾ってみます。（全国民生委員児童委員連合会2019・5・9日報道資料から抜粋）

○「将来的には民生委員になってみたい」10～20代が最も高く20ポイントを超えています。特に女性はや年代が若い層ほど委員になることに意欲的。これは若者の社会貢献志向の高まりに光明。

○約7割が存在を認知する一方で、しかし9割を超える人が役割や活動内容を十分に理解していない。役割や活動内容まで知っているのは7・9%と少数派。

○イメージ調査では「地域に必要」「ボランティア精神高い」といったプラスの声75%超。一方「自分から遠い存在」という答えは65%。当事者意識の低い現状か。

○5割近くが「民生委員に相談したい」と回答。10～30代女性はや育て関連の声多数。核家族化や地域コミュニティの希薄化の影響か。

○充実させてほしい活動内容は、「高齢者や子育て家庭の訪問」「高齢者に上位。高齢者家庭では災害の不安を反映し、「災害に備えた活動」が全体より高い結果になっている。

このようなデータがある中で、日高市民児協の担い手について

みてみます。活動については各地区の定例会等でいろいろ話し合い、課題の共有化を図り、一つ一つ解決に結びつけるよう行ってきたと思います。行政・社協・自治会それぞれの協力を得ながら行っている委員の苦勞は計り知れず、それを進めるうえでネックになっているのが委員の欠員です。日高市は新しい委員を選出するのに地区の区長さんの推薦をいただいています。

故前嶋謙一郎会長を偲んで

高麗川地区民児協および日高市民児協の会長を務められていた前嶋謙一郎氏は、令和7年6月11日、ご病気のため急逝されました。

前嶋氏は平成22年に委嘱を受け、市民児協の書記、地区民児協副会長2期、地区会長1期を経た後、地区会長および市民児協会長を2年6か月余務められ、任期途中でのご逝去でした。

前嶋氏が民児協の運営に多大な貢献をされたことは言うまでもありませんが、とりわけ民生委員・児童委員の負荷を軽減することに尽力されました。

どうしても候補者がいないと区長さん自らが委員になってくれている地区もあります。今期の体制をみてみます。市全体では定数109（主任児童委員を除く）に新委員83、欠員26といった状態です。何とか欠員を減らしたいと思っています。地域全体で民生委員・児童委員に対する認識を新たに持っていただき、一層の協力をお願いしたいと思います。

前嶋氏は快活・明朗で、雰囲気作りで長けており、その人柄の存在感は余人に代えがたいものでした。

また、家庭菜園で収穫したジャガイモ、玉ねぎなどを毎年「ぬくもりげんき食堂（子ども食堂）」に寄付され、大変感謝されていました。

民児協や、地域にとっても大変惜しい方を失い、言葉に表せないほど残念な思いです。

故人を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



（広報部会）

退任委員からひとこと



高麗地区
横手 幸江

私、この度の任期をもちまして退任させていただくことになりました。

去る平成25年12月1日付で民生委員・児童委員を拝命して、皆様のご協力のもと、4期12年間のお役目を無事に終わらせていただきました。

定例会での研修は、活動する上での基礎知識を得るため、又その成果を生かして地区の皆様と、行政等との繋ぎ役としての役割を果たすために、有意義なものであったと感じます。また自身のスキルの向上にも繋がりました。委員同士の交流においても、意見交換や疑問があれば質問し合うなど、良い関係が築けていたと感じております。

ただ、悲しい場面にも遭遇したこともありました。一期目早々に、高齢者の方が亡くなられていたという事がありました。これが高齢化の現実かと実感する出来事でもありました。

最後に、今後の日高市民生委員・児童委員協議会の益々のご発展と皆様のご健康をお祈りして、退任の挨拶とさせていただきます。



高麗地区
鈴木 敏男

私は現役の頃から60歳を過ぎたらボランティア活動をしようと考えていました。

12年前に自治会の班長の順番が来た時に役員として手を挙げ、この縁で自治会長から「民生委員・児童委員にならないか」とお誘いをいただき、引き受けました。

実際に就任して良かったことは、地域や市内各所に知り合いが増えたこと。例えば「市民まつり」などに行くことが多く、楽しいことができました。

また部会も「高齢者」「障がい者」「地域福祉」と経験し、「介護施設」や「グループホーム」「おたすけ隊」などとも縁ができて、自分もお手伝いするきっかけを得られ、地域に貢献していることが実感できました。

現在は「子どもの見守り」と「くくりくくり元気体操サポーター」の活動を継続しており、これは民生委員・児童委員を退任してからもライフワークとして、身体が続く限り継続していくつもりです。

この12年間は、「私の人生でもっとも輝いて充実していた期間」というのも過言ではないと思います。



高麗川地区
伊藤 輝雄

私は、地域住民から情報収集をして関係機関へ繋ぐことを意識しながら、3期9年間にわたり原宿区の二つの班を担当しました。

しかし、私が居住する班ではなく、約300世帯を回ってみると面識のない方が多いことを実感させられました。任期途中から自然に挨拶されるようになりました。実際に訪問すると元気な方もおられますが、困っていることを抱え、他人の援助は受けたくないという方や、相談相手がいない方もいました。病院へのタクシー代、雑草の処理、介護申請をせず費用が大変など、悩みは色々です。

毎月の定例会における福祉関係の講座が勉強になり、特に協力をいただいた高麗川地域包括支援センターと地域原宿おたすけ隊には大変お世話になりました。



高麗川地区
山下 恵子

民生委員・児童委員の依頼が来た時は悩みましたが、これまで地域の事にはまったく関与してこなかったもので、ご恩返しと思い引き受けました。

定例会では、地域福祉の問題等の早期発見者、情報の取得者として委員同士の率直な意見交換が大変有意義で、グループ討議などでも発言しやすい運営方法がなされ、委員としての役割を推進していくことがスムーズにできました。

視察研修では、学んだことや気づきを地域の課題解決や活性化に向けて実行できるよう、一歩でも近づけるように努力する礎にもなりました。

たくさんの方の学びと共に、様々な人々との声掛けや笑顔に出会うことができ、私の視野を広げ、人生を豊かにしてくれました。ありがとうございます。

退任委員からひとこと



高萩地区

大河原 万次

昨年12月の改選をもちまして任期を終え、退任いたしました。令和元年、地区の推薦とはいえ、浅学非才な私がこのような重責を全うできるか不安の毎日でした。

独居老人の見守り、子どもに対する言葉かけ、地域住民への気配りなどなど。そんな中、突然のコロナ感染症に影響を受け、活動の根幹となる対面活動が、距離をとり、接触も最小限にと、変容を余儀なくされました。

時は流れ、令和5年5月、感染症法の位置づけが5類に変更されました。

任期中には出会いと別れがつきものですが、私にとっても良き出会いがあり、皆様と楽しく活動できました。色々とご支援ご協力をいただきました皆様に、心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。



高萩地区

佐々木 清子

平成28年、前任者から引き継ぎ、「知らない人と話すのは苦手、お年寄りには苦手」と思いながら早9年。

「3地区の佐々木です。」と玄関先で声をかけ、ちよつと顔を見にただけなのに30分も立ち話。皆、話し相手を待っているんだな、私も他人の話を聞けるようになったな、と民生委員・児童委員を引き受けて思えるようになりました。

担当の日高団地は6人の委員（いつも一人欠員だが）、近隣の新宿、日高台の委員と月一回勉強会を開いて情報交換を行い、時に包括から話をしに来てもらったり、おしゃべりに興じたりと楽しく活動してきました。

研修旅行も楽しかったし、とても有意義な9年間でした。

これからは、見守り協力者となって、地域に貢献して行きたいと思っています。

退任委員送別会



令和7年11月21日、サイボクハム日高に於いて、谷ヶ崎市長をはじめ、多くの来賓のご臨席を賜り、一斉改選に伴う退任委員の送別会が開催されました。

開会に先立ち、六月に逝去された前嶋会長に黙祷を捧げ、その後、開会の言葉を経て、杉山会長職務代理から挨拶がありました。杉山氏からは長年の労をねぎらう感謝の言葉があり、次に、来賓の谷ヶ崎市長と金子市議会議長の紹介後、ご挨拶をいただきました。その後、大沢社会福祉協議会会

長のご発声で乾杯をし、賑やかな歓談が始まりました。長年、民生委

員・児童委員の活動に取り組んで来られた方々なので、懐かしい話、楽しい話などが、あちらこちらの席で語られていました。



歓談後、退任委員の紹介と記念品贈呈が行われ、最後に退任委員を代表して、横手副会長からご挨拶をいただきました。一抹の寂しさを感じながらも、大変和やかな雰囲気の中で、送別会は終了を迎えました。

退任された皆様の在任中のご功労に敬意を表し、感謝申し上げますとともに、退任後のご健勝とご発展を祈念申し上げます。また、送別会の開催にあたり、企画・運営に尽力をいただいた実行委員の皆様、日高市生活福祉課及び日高市社会福祉協議会の皆様に感謝申し上げます。

社会福祉事業への参加



高麗地区は10月2日、JA直売所「あぐれっしゅ日高中央」で、高麗川地区は10月5日、ヤオコー日高店で、高萩地区は10月1日、ベイシアひだかモール店で、10月6日は、サイボクハム日高で、それぞれ赤い羽根共同募金を行いました。

買い物帰りのお客さんに大きな声で呼びかけていましたが、ベイスシアでは、昨年に続いて日高高校生徒会の生徒が、元気な声で呼びかけ、協力してくれました。楽しそうに募金箱にお金を入れる子供の姿もありました。

ヤオコーでは主婦を中心に、私たち民生委員に声をかけながら募金してくれました。また、JAでは、新鮮な野菜を抱えながら募金に協力していただきました。

今年も多くの方に協力していただき、六万一千二百三十三円を集めることができました。

赤い羽根共同募金



高麗地区は10月2日、JA直売所「あぐれっしゅ日高中央」で、高麗川地区は10月5日、ヤオコー日高店で、高萩地区は10月1日、ベイシアひだかモール店で、10月6日は、サイボクハム日高で、それぞれ赤い羽根共同募金を行いました。

買い物帰りのお客さんに大きな声で呼びかけていましたが、ベイスシアでは、昨年に続いて日高高校生徒会の生徒が、元気な声で呼びかけ、協力してくれました。楽しそうに募金箱にお金を入れる子供の姿もありました。

ヤオコーでは主婦を中心に、私たち民生委員に声をかけながら募金してくれました。また、JAでは、新鮮な野菜を抱えながら募金に協力していただきました。

今年も多くの方に協力していただき、六万一千二百三十三円を集めることができました。

開催報告



天気も良く、大勢の方が参加していました。

あいあいまつり

全国民生委員児童委員連合会 表彰
永年勤続民生委員・児童委員表彰

杉山 博行
新井 信子

令和7年度「埼玉県民生委員・児童委員協議会 会長感謝」
30年功労者感謝状贈呈

行成美知代

令和7年度民生委員及び児童委員
功労章

上野 良子

埼玉県社会福祉大会知事表彰

長尾 寛博
須藤しのぶ

全国社会福祉協議会 会長賞

福山 和子

横手 幸江

鈴木 敏男

金子まさ子

倉本 信代

小泉 敬子

日高市社会福祉協議会 会長表彰

横手 幸江

鈴木 敏男

金子まさ子

倉本 信代

小泉 敬子

県知事表彰
共同募金活動奉仕者

杉山 博行

退任民生委員・児童委員

令和7年8月31日付

高萩地区 大野 節子

令和7年10月20日付

高麗地区 佐藤 壽美



あしがき



去年は記録的な暑さが続いた夏が過ぎ去り、やっと過ごしやすい秋になったのも束の間、冬の季節となりました。

今季は、寒暖の差が激しかったからでしょうか、インフルエンザの流行が早まっております。冬もイベントが多く、忙しく過ごされている方も多いと思いますので、体調には気を付けましょう。また、昨年十二月は、3年毎に行われる民生委員・児童委員の改選の年でした。引き続き委員を担っていただける方、今回で退任される方もいらっしゃると思います。立場が異なっても、引き続き民生委員・児童委員の活動にご協力いただけると幸いです。

高麗地区 石井 幸子